

コミュニティ・スクールだより

2025.4
Vol.48

名張市教育委員会事務局発行

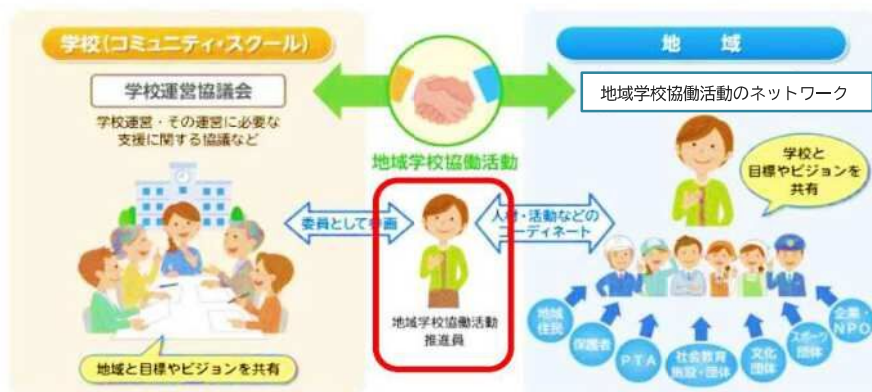
新年度最初の本号では、地域学校協働活動推進員（以下、「推進員」）について、昨年度に研修会講師として来てくださった山口県地域連携教育アドバイザー・木本育夫さんのご講演内容をもとに、その役割をお伝えします。

「地域学校協働活動推進員」とは？

地域が学校や子どもたちを「応援・支援」という一方向の関係から、地域と学校がパートナーシップに基づき双方向の関係となっていく地域学校協働活動。その主体は「人」であり、その中心として、地域と学校の連絡調整、情報共有、活動の企画、調整、運営、啓発などの役割を担うのが「推進員」です。「推進員」は教育委員会の委嘱によって、その立場が明確に位置付けられ、学校運営協議会へも参画します。そうすることで、必要な支援等について学校運営協議会で協議が行われ、その結果を踏まえて、より円滑かつ効果的に地域学校協働活動が行われ、教育活動の充実や教職員の負担軽減など、学校運営の改善に結びつけることができます。

「地域学校協働活動推進員」＝ 地域と学校をつなぐコーディネーター

社会教育法（第9条の7）に基づき、教育委員会が委嘱 信頼性の高いコーディネーター
■学校運営協議会委員として参加 ■関係者との連絡調整 ■地域ボランティアの募集確保



名張市では従来からも「推進員」の役割を担い、活動してくださる方がいます。今年度からは、教育委員会で正式に委嘱し、活躍いただけるよう取組を進めていきます。

錦生赤目小学校学校運営協議会が 令和6年度文部科学大臣表彰受賞

学校と地域が連携・協働し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施する取組として評価され、この度、錦生赤目小学校の学校運営協議会が文部科学大臣表彰を受賞しました。赤目中学校の学校運営協議会で行われた生徒との懇談、提案から始まった「あかめこどもフェスタ」への参画や運営活動をはじめ、錦生地区の高齢者の方々との交流、「赤目夏祭り」での子どもスタッフとしての参加など、2つの地域と学校が育てたい子ども像をしっかりと共有し、進めてきたことが認められました。

また、**学校運営協議会委員が教職員全員と熟議を行ったり、6年生の子どもたち全員と懇談を行ったりする**など、ねらいを明確にした学校運営協議会が行われ、コミュニティ・スクールとして充実してきています。受賞、おめでとうございます！

あかめこどもフェスタ
参画・運営



錦生地区
高齢者と交流



赤目夏祭り
子どもスタッフ



学校運営協議会委員が
市長を表敬訪問



「コミュニティ・スクール実践集2024」ご覧ください

令和6年度の市内小中学校のコミュニティ・スクールの実践を紹介しています。

学校運営協議会委員及び地域のみなさま方、名張の子どもたちの学びと育ちのためにご理解とご協力をいただきましたこと、大変感謝申し上げます。

コミュニティ・スクール 実践集2024



令和7(2025)年3月
名張市教育委員会

こちらの二次元コードを読み取っていただくと、市のホームページから実践集をご覧いただけます。

